

一般質問通告書一覧表

令和4年12月7日招集
第20回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5番 花城勝男	1. 嘉手納町役場のデジタル推進を問う	<p>国や地方公共団体、民間との連携で社会全体のデジタル化を実現するために、2021年9月政府内にデジタル庁が設立されてから1年3ヶ月が経過した。約600人いる職員のうち、3分の1の約200人を民間企業から採用している。今後は嘉手納町役場においてもデジタル人材を民間企業から積極的に採用する人事も必要かと考える。令和4年度の施政方針には急速なデジタル化や町民ニーズの多様化、変革する社会へ対応し、質の高い行政サービスを確保するために、各種研修の実施に努め、職員の意識改革と資質の向上を図るとの明記がある。</p> <p>デジタル化社会への対応として、RPA（ロボットソフトによる自動業務効率化する技術）の導入が47都道府県で91%、全国区市町村は29%にとどまり、沖縄県市町村では読谷村を含め10自治体の24%が導入済みである。嘉手納町役場でも、今後はRPA導入に掛かる予算・人材の育成確保・デジタル化への取り組みが急がれる。急速にデジタル化社会へ変化している現状を鑑みデジタル推進について以下を問う。</p> <p>(1) デジタル化に伴う職員の意識改革と資質向上の具体的取り組みと進捗状況は。</p> <p>(2) RPA（ロボットソフトによる自動業務効率化する技術）の概要と、役場職員及び町民のメリットは。また、RPAの導入時期は。</p> <p>(3) RPA導入した近隣市町村の視察研修や情報交換の実施は。また、RPAの広域共同システムで活用する検討は。</p> <p>(4) ペーパーレス化推進の進捗状況は。及び2019</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	<p>1. 嘉手納町役場のデジタル推進を問う</p> <p>2. マイナンバーカードを問う</p>	<p>年度～2021 年度までの印刷用紙に掛かる合計費用の 3 年間推移は。また、FAX での伝達システムの削減改善の必要性があると考えるが、今後の考え方と方向性は。</p> <p>(5) 印鑑での押印申請手続きと決裁手続きの削減改善をどのように進めているか。また、進捗状況と削減スケジュールは。</p> <p>(6) 全国自治体での導入率が 50%を超えた LoGo チャット（ロゴチャット）の概要と導入メリットは。また、今後の活用方法は。</p> <p>(7) デジタル化の体制固めとして、デジタル推進課の新設及び情報政策係をデジタル推進係に名称変更しては。</p> <p>2015 年 10 月に国民全員にマイナンバー個人番号 12 桁が通知され、2016 年 1 月からマイナンバーカードの交付が開始された。6 年が経過した現在の推進状況は全国で 51%、町村平均では 48%の導入率で推移している。また、2021 年 10 月からマイナンバーカードの健康保険証としての利用開始をスタートさせた。現行の健康保険証を廃止し、政府は 2022 年 10 月に本格的にマイナンバーカード健康保険証の導入を目指し推進している。デジタル化の柱であるマイナンバーカードの、今後の推進について以下を問う。</p> <p>(1) マイナンバーカードの概要と嘉手納町の導入実績及び行政区別の導入実績は。また、マイナンバーカードの導入目標をどのように達成するのか。</p> <p>(2) マイナンバーカードに健康保険証利用申し込み及び公金受取り用の口座登録が開始されたが、町民の登録の実績は。</p> <p>(3) マイナンバーカードの情報セキュリティーの概要は。また、情報流失の危険性はないのか。</p> <p>(4) いつまでにマイナンバーカードの機能をスマートフォンへの搭載実現を目指しているのか。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	2. マイナンバーカードを問う 3. 新野球場を問う	<p>(5) 現行の健康保険証をいつまでに廃止し、マイナンバーカード健康保険証をいつまでに全町民への導入を目指しているのか。</p> <p>(6) いつまでに運転免許証とマイナンバーカードの一本化の実現を目指しているのか。</p> <p>(7) マイナンバー制度及びマイナンバーカード導入による社会保障（年金等）、税、災害対策の現在の活用は。また、今後の官民連携の活用方法は。</p> <p>現野球場は 1987 年に開催された海邦国体でフットボール競技の会場として整備されてから 35 年が経過し、施設機能の老朽化により現野球場の解体工事が進んでいる。工事スケジュール等について以下を問う。</p> <p>(1) 嘉手納野球場土壌汚染状況調査委託料 17,787 千円の概要と調査スケジュールの進捗状況は。また、現野球場の解体工事 189,272 千円の概要と工事スケジュールの進捗状況は。</p> <p>(2) 世界情勢の変化による原材料の高騰や物価高の影響により、新野球場の総額工事費 42 億 5 千万円や工事完成スケジュールに変更はあるのか。</p> <p>(3) 嘉手納野球場リニューアル工事期間中の横浜 DeNA ベイスターズ 2 軍キャンプ地の場所は。また、今後のキャンプ地の動向と方向性は。</p> <p>(4) プロ野球一軍誘致のために新野球場のサブグラウンド設置については、行政としては狭隘な土地のため今後の検討事項と考えているが、提案として野球場西側大駐車場に人工芝立体サブグラウンド（四方 50m）の設置ができないか。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
3	12 番 金城利幸		今回、総務財政常任委員会では去る 10 月 18 日から 21 日の日程で、行政視察研修として北海道内の千歳市役所、航空自衛隊千歳基地、恵庭市役所、美瑛町役場の 4 カ所を訪問した。南と北の立地を	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	1. 千歳市の防衛施設と周辺地域の調和のまちづくりについて當山町長の所見を伺う	<p>はじめ、地勢や歴史、環境の異なる条件からくる町の経営事情や手法の中から本町を考察する機会となった。以下順を追って質問・提言を行いたい。</p> <p>北海道で一番若い町。平均年齢 44.3 歳。市内には陸上自衛隊 2 駐屯地、航空自衛隊 1 基地が所在。各部隊に配属されている自衛隊員とその家族、OB を含めて人口の約 3 割。町内会活動やスポーツ・文化団体での活動などを通して市民生活と大きな関わり合いをもって、防衛施設と周辺地域の調和のまちづくりを展開。</p> <p>自衛隊及び米軍の特定の行為に起因する諸障害の防止、軽減・緩和措置と民生安定事業に対する助成措置は制度化されている。(嘉手納町同様) 視察研修の中で頂いた千歳市発行の「千歳市と基地 (令和 2 年度)」の中の一部に強い関心を持った。</p> <p>第 6 章「在日米軍再編に係る訓練移転の訓練移転問題に対する判断」で沖縄の負担軽減に対する認識について。</p> <p>①嘉手納以南の市街地にある基地の全面・一部返還。</p> <p>②普天間飛行場の早期返還に向けて、代替施設と緊急時の基地機能を航空自衛隊築城、新田原基地において確保。</p> <p>③アメリカ海兵隊司令部の移転で、8 千人の人員をグアムへ移駐。</p> <p>④嘉手納飛行場を含む米軍基地訓練の一部を 6 カ所の航空自衛隊基地へ移転。</p> <p>として、在日米軍の専用施設面積の約 75%が沖縄県に集中している実態からすると、この負担軽減は国全体として担っていかなければならない課題であると認識している。と記載されている。</p> <p>このような認識が明記されていることに米軍基地を抱える嘉手納町民として千歳市に対する関心を改めて意識することになった。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	<p>1. 千歳市の防衛施設と周辺地域の調和のまちづくりについて當山町長の所見を伺う</p> <p>2. 嘉手納町の AI－RPA 導入・取り組みについて</p>	<p>同時に面積 596.50K m²の千歳市（東京 23 区とほぼ同じで嘉手納町 15.12K m²の約 40 倍）の環境との大きな違いがあることを認識しつつ、狭隘な面積の中で暮らす嘉手納町は日々続く米軍基地被害と新たな住民生活環境破壊事象に関しては全国に向けて適時に積極的な情報発信が重要と考える。この一連の現状を見据え當山町長の所見を伺いたい。</p> <p>人口減と少子高齢化を迎え 2040 年ごろには地方公務員の減少が想定され、現在の半数の職員でも地域の行政機能を維持できるように IT（情報技術）化が求められている。総務省は AI や RPA などを全国 300 地域で導入する目標を掲げている。今回、議会事務局の提案を受けて総務財政常任委員会は北海道恵庭市における自治体 DX の取り組みについて先進地視察研修を行った。恵庭市は、</p> <p>①北海道では数少ない人口増加（70,324 人）の市。</p> <p>②31 歳以下の職員が 35%。</p> <p>③40～43 歳の職員が少なく指導的立場の中間層が不足。</p> <p>④税務課は平均年齢 30 歳。</p> <p>⑤若手職員の業務理解の不足対策として、令和元年「茨城県つくば市を先進地視察」をスタートとした。</p> <p>⑥成果として税務課と子ども家庭課の業務削減を実現。</p> <p>⑦効率化で空いた時間を担当以外の勉強に充てたり、繁忙期の業務を手伝ったり、幅広い見識を身に付けやすくなった。</p> <p>⑧恵庭市においては今後 AI－OCR（人口知能）の全庁向け展開するとのこと。</p> <p>AI－OCR、RPA、DX、BPR いずれも耳慣れない用語の理解から始まった視察研修であった。</p> <p>恵庭市と嘉手納町それぞれの環境・条件の違いはあると考察するが、共通する課題を模索しながら</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	<p>3. 美瑛町視察から考察する嘉手納町の少子高齢化課題</p> <p>4. 防錆整備格納庫建設の断固阻止行動の振り返りと今後の対応は</p>	<p>ら、振り返り本事業の再確認と嘉手納町独自の今後の対応・予定を含め以下伺いたい。</p> <p>(1) 嘉手納町職員の年代別構成（直近資料）。</p> <p>(2) 団塊の世代の退職後の変化と影響・課題は。</p> <p>(3) 恵庭市のような類似課題はないか。</p> <p>(4) 嘉手納町の取り組み現況と予定・実施課題は。</p> <p>東京都 23 区とほぼ同じ面積をもつ北海道美瑛町（嘉手納町の 45 倍）。前回視察から 21 年が過ぎて、その自治体環境の変化を検証した結果、</p> <p>①人口 12,000 人から 9,600 人（80％）に減少。昭和 35 年 21,000 人から 9,600 人は（44％）に減少。</p> <p>②若者が高校卒業後町外へ転出。高齢化が進む。</p> <p>③主力産業の農業担い手不足。面積は豊富。</p> <p>④観光業は通過型で宿泊が少なく伸び悩み。</p> <p>⑤町立病院・町立高齢者福祉住宅の需要増加傾向。</p> <p>⑥北海道は 179 自治体の内 152 市町村が過疎地となり美瑛町はそのひとつ。（過疎地債活用でのまちづくり）</p> <p>当然、美瑛町的生活環境条件と嘉手納町の違いは多様にあるが、ここで本町の現況と課題を考察したい。</p> <p>(1) 今後の高齢化と高齢者福祉施設の需要充実の必要性和課題。</p> <p>(2) 子育て世代の需要と支援・課題（少子化対策）</p> <p>(3) 嘉手納町の産業別従事者数と担い手等課題。 ①農業 ②水産業 ③商業 ④その他</p> <p>(4) 近年人口数が、ほぼ不動の要因・課題。</p> <p>防錆整備格納庫建設の断固阻止行動振り返り</p> <p>①9 月 22 日、嘉手納町議会基地対委員会は、嘉手納基地 18 航空団に移設計画の撤回を求めた。同航空団広報局長「現段階では計画は決定している」と町代案も否定。</p> <p>②9 月 29 日、自民党県連の中川京貴会長は浜田靖</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	4. 防錆整備 格納庫建設 の断固阻止 行動の振り 返りと今後 の対応は	<p>一防衛相へ撤回を含め計画の見直しを求めた。同日、三連協でも當山町長は浜田靖一防衛相へ撤回を含め計画の見直しを求めた。防衛相「嘉手納町の懸念を伝達し、建設計画の詳細について説明を求めつつ協議を行っている。引き続き米側としっかり協議していく」</p> <p>③嘉手納町議会は10月12日県議会へ。10月13日外務省へ要請行動実施。</p> <p>④10月18日県議会「防錆施設見直し決議」全会一致で決議。</p> <p>⑤10月21日 県議の全会一致の決議・意見書可決に対して浜田靖一防衛相記者会見「引き続き、地元のご懸念を十分に受け止めながら米側としっかり協議していく」</p> <p>⑥11月7日 県議会米軍基地関係特別委員会の照屋大河委員長は嘉手納基地第18任務支援群司令官ローラ・ラモス大佐に要請。答弁は「防錆施設については米議会による予算承認を待っており、23年春まで文化財調査が始まることはない」との説明。「建設場所の決定に当たる予算の承認は、それより早い時期が見込まれる」「防錆整備格納庫の整備については日米両政府の間、進められている。判断を待ちたい」</p> <p>このような一連の流れの中で沖縄防衛局長小野功局長は「嘉手納町の懸念を伝達しつつ、日米のあらゆるチャンネルで精力的に協議している」との説明。この間、県の積極的な要請行動も続いているが、嘉手納町内では町民の皆さんや各自治会において「防錆施設建設反対」の意思表示も活発になっている。當山町長の所見と今後の対応・行動を伺う。</p>	町長 當山 宏
3	8 番 安森盛雄	1. スポーツ ツーリズム の進捗は	(1) スポーツツーリズムとは、スポーツを「見る(観戦)」「する(楽しむ)」ためだけの移動だけではなく、周辺の観光要素やスポーツを「支える」人々との交流や地域連携も付加した旅行ス	

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	8 番 安森盛雄	1. スポーツ ツーリズム の進捗は 2. 防災につ いて 3. 学童につ いて	<p>タイルと位置づけされている。以前に花城議員の質疑の答弁に今後はスポーツツーリズムを推奨していくとのことだったが今後のスケジュールと進捗は。</p> <p>(2) 現在はベイスターズ2軍のキャンプ地となっているが今後は変化があるのか。</p> <p>(3) スポーツツーリズムを推進していくのであれば町民の家の建て替えについても一緒に推進しては。</p> <p>(1) 防災の日に庁舎内で訓練等は実施されたか。</p> <p>(2) 9月議会でも防災シェルターの検討ができなしかと質疑したが再度、今後の公共施設をリニューアルする場合にシェルターの設置ができなしか伺う。</p> <p>嘉手納小学校にある民間型学童はその後、学校運営に支障等はないか伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
4	2 番 福地義広	1. PFAS 等による環境汚染について	<p>PFAS 等による汚染について、有機フッ素化合物（PFAS）汚染から市民の生命を守る連絡会から、嘉手納基地周辺住民等から血液を採取し、調査した結果が公表された。387名のうち27名からドイツの定める健康影響基準値を超える値が検出された。この状況を受けて以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 結果が新聞等で報道された後、この問題に関して町への問い合わせはあったか。</p> <p>(2) 問い合わせ数と、問い合わせに対して町はどのように対応したか。</p> <p>(3) 今後の対応方針等について伺う。</p> <p>(4) 令和3年度冬季有機フッ素化合物環境中残留実態調査結果が明らかになった。詳細は以下のとおりである。なお、汚染箇所の説明は「嘉手納町の歴史と文化 旧跡・拝所」より引用した。 ア) ヒージャーガー（水質がよく首里王府にも献上され、屋良大川按司も使用したという由緒</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	2 番 福地義広	1. PFAS 等による環境汚染について	<p>ある泉) PFOS:1500ng/L PFOA:180ng/L イ)ウブガー(産川。出産儀礼に用いられた) PFOS:1400ng/L PFOA:150ng/L ウ)シリーガー(この泉から「死に水」を汲み、 死者の体を洗い清め、あの世に送った) PFOS: 910ng/L PFOA :75ng/L エ)ヌールガー(村の祀りごとを司る神女(ノロ) 専用の泉) PFOS: 250ng/L PFOA :84ng/L オ)民家井戸群(7 地点) PFOS:240~1800ng/L PFOA :34~180ng/L 以上の汚染状況の把握・調査・除染・人体への健康影響等の担当部署について以下のとおり伺う。</p> <p>①PFOS 等の環境汚染状況の把握及びその除去等の対策を担う部署はどこか。 ②PFOS 等の人体汚染状況の把握、健康被害・影響の調査、被害除去等を担う部署はどこか。 ③旧跡文化財汚染状況の調査、除染を担う部署はどこか。 (5) 調査によれば、民家井戸の7 地点で高濃度のPFAS 等が検出されている。当該井戸の場所、所有者、使用状況及び汚染状況の具体的数値等は把握しているか。把握しているのであれば、その状況をご教示願いたい。 (6) 井戸所有者には井戸水の汚染状況は告知してあるか。同時に使用制限なども行っているのか。行っているとすればその根拠は何か。制限はいつ開始され、期間はどれくらいになっているか。 (7) 調査対象以外の町内の井戸の設置状況を把握しているのか。 (8) これらの井戸の汚染状況調査は実施しているか。 (9) これらの井戸についても使用制限などを行っているのか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	2 番 福地義広	2. 嘉手納基地パパープ内への防錆整備施設建設計画について 3. 基地対策協議会について	<p>この問題について、10月21日記者会見で、浜田防衛大臣は次のように述べている。「10月18日の沖縄県議会において、格納庫の移設計画の見直しを求める決議と意見書が、全会一致で決議された。本件格納庫の建設計画については、現在、米側との間において、嘉手納町のご懸念を伝達した上で、建設計画の詳細について説明を求めつつ、様々なレベルで協議を行っている。防衛省としては、引き続き、地元のご懸念を十分に受け止め、米側としっかりと協議を行ってまいりたい。」これを受けて以下を伺う。</p> <p>(1) 日米協議の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 町民の建設計画撤回を求める声は日増しに高まっている。町内住宅へのぼりが掲げられているだけでなく、6区自治会事務所でも横断幕やのぼりが掲げられている。これらの状況は把握しているか。</p> <p>また、同時に町民大会開催の声も上がっているが、町民大会を開催し町全体の反対の意思を示す考えはないか。</p> <p>基地対策協議会は、町HPによれば「航空機騒音は学校教育に重大な支障をきたしたためその対策として、昭和40年「爆音防止期成会」を発足させ、時の米国民政府及び日本政府へ防音校舎の建設を要請し、更に昭和43年11月19日のB52戦略爆撃機の墜落爆発炎上を機に多発する基地被害に対処するため、同年12月5日に名称を「嘉手納町基地対策協議会」(町、町議会、町内各団体長で構成)へと変更し、基地に起因する諸問題に取り組んできた。昭和62年6月には、協議会活動の活性化を更に促進するため、全町民的な組織へと再編し、自治会より推薦を受けた町民20人で構成し、町・町議会との連携を図りながら、静穏で平和なまちづくりに取り組み、本町の基地対策活動を推進する上で欠かせない存在となっている。」と説明され</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	2 番 福地義広	3. 基地対策協議会について	<p>ている。以下を伺う。</p> <p>(1) 同協議会の設置根拠について伺う。</p> <p>(2) 同協議会員の選任根拠及び選任方法について伺う。</p> <p>(3) 同協議会に第4次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団嘉手納支部代表を選出委員として加えることを提案する。同原告団には町民の約6割が参加しており、基地対策協議会へ参加すべき町内団体に相応しいと思慮する。</p>	町長 當山 宏
5	7 番 古謝友義	<p>1. 農家の支援策を問う</p> <p>2. 駐車場の拡充せよ</p> <p>3. 高齢者福祉住宅の建設を</p>	<p>物価の高騰で、肥料や飼料、鉢類が軒並み値上がりし農家は悲鳴を上げている。そこで以下を問う。</p> <p>(1) コロナ禍で中小企業支援策は実施されているが農家も該当するのか。</p> <p>(2) これまで特別に農家に対する支援は行ったか。</p> <p>(3) 優良農機具補助金は鉢物類も該当するか。</p> <p>(4) 北谷ファーマーと道の駅農産物販売所が閉鎖し嘉手納町の農家は読谷村で販売している。農家のために町内の販路を開拓できないか。</p> <p>役場敷地の駐車場は、かでな未来館ができたことでだいぶ手狭になったと感じる。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 駐車場の増設の必要性は考えているか。</p> <p>(2) 駐車場が満杯状態のときはどのように対処しているか。</p> <p>(3) 駐車場はピーク時の8割が妥当だと思うが見解は。</p> <p>(4) 現行の駐車スペースの3倍規模の屋根付き立体駐車場を造れないか。</p> <p>町内に居住する65歳以上の独居高齢者が、安心して住みなれた地域で生活を続けられるような福祉住宅の建設ができないか。以下を問う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	7 番 古謝友義	4. 親子で楽しめる公園を造れ	<p>(1) 町には 65 歳以上の独居高齢者が、何名いるか。</p> <p>(2) 町営住宅に 65 歳以上の独居高齢者が、何名入居しているか。</p> <p>9 月定例会で一般質問した兼久海浜公園について再度以下を問いたい。</p> <p>(1) 多目的広場について遊具の設置は行わないのか。</p> <p>(2) 町内において子供と一緒に遊ぶところがないと町民の声があるが、どう思うか。</p> <p>(3) 兼久海浜公園内にあるスケートボード場は町が設置したのか。</p> <p>(4) 今や世界的な競技であるスケートボード場をなぜ町で造らないのか。</p>	町長 當山 宏
6	1 番 髙原妙子	<p>1. 水釜護岸階段に手すりの設置を</p> <p>2. 比謝川自然体験センターの利用状況について</p>	<p>水釜護岸沿いは、階段を上がると散歩コースでもあり、また青い海を見ながら心地よい風をうけ、リフレッシュができる町民の方々の大事な癒しの場所であるが、水釜高層町営住宅側の護岸沿いの階段は一見緩やかであるが、手すりがないため危険である。数名の町民の方々から手すりを付けてほしいとの声がある。見解を伺う。</p> <p>本町の観光資源の一つである比謝川を活用するための比謝川自然体験センターが 4 月にオープンして半年が過ぎた。ついては以下を問う。</p> <p>(1) 現在、カヤック等を利用して比謝川の自然体験を活用している業者数とその利用者数について。</p> <p>(2) 比謝川自然体験センター施設の利用状況と利用者数は。</p> <p>(3) 児童生徒の自然体験のためにも大いに活用できる施設だが、本町の学校における利用計画は。</p> <p>(4) 町民の利用に向けた周知活動と観光客の誘致に向けた取り組みについて。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	1 番 嵩原妙子	<p>3. てんかん薬について</p> <p>4. ヤングケアラーについて問う</p> <p>5. 「出産・子育て応援交付金」について</p>	<p>(5) 利用客の増加に伴う駐車場の確保等、今後の課題はあるか。</p> <p>令和2年9月に承認された、てんかん治療薬、ブラコムが今年7月に学校等において児童の発作時に投与できるようになった。国から各関係機関への周知がされているが、以下、本町においての状況を伺う。</p> <p>(1) 本町における、てんかんをもつ児童生徒の数は把握しているか。</p> <p>(2) 文部科学省からの通達の概要は。</p> <p>昨年12月の一般質問でヤングケアラーについて質問をしたが、その後の進捗状況について以下を伺う。</p> <p>(1) 県の調査結果による本町の実態を伺う。</p> <p>(2) 学校現場の現時点での課題と今後の課題は。</p> <p>(3) 県が令和4年9月から令和5年3月の期間において行う「要支援家庭寄り添い支援事業」の概要を伺う。</p> <p>現在のわが国、そして嘉手納町も例外でなく、全体的な少子化、人口減少を克服するための具体策として、このたび政府の総合経済対策の中に盛り込まれた新規事業である、すべての出産家庭に計10万円を支給して妊産婦の伴走型支援につなげる「出産・子育て応援交付金」は実施主体が各市町村となる。本町はどう取り組むのか伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
7	10 番 照屋唯和男	1. 町の美化緑化について問う	町内において通りをきれいにしたい、あるいは施設をきれいにしたいと、各地域において活動するボランティアの方々がいるが、活動グループの登録団体へは町として補助金申請のもとに10万円を出している。活動しやすいように後押ししていると思われるが、町はその各団体とのコミュニケーションはしっかり取れているのか。活動者への	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	10 番 照屋唯和男	2. 基地に対して町の立場（スタンス）を問う 3. 町の歴史と町外へのアピール取り組みを問う	<p>声かけ、感謝の意はどのように示しているか。また、高齢、あるいは何らかの事情で活動が継続できなくなった場合のその後の対応まで考えはあるか。</p> <p>県外の米軍関連基地においてはウェルカムの状況にある経済の活性化につなげる共存共栄を望む傾向にある施設もみられるが、我が町はこれまでも、またこれからどのようなスタンスで来てどのように対応して行くのか。基地の機能強化、あるいは施設のリニューアルに対して、例えば今回、F15 が撤退し暫定的にF22 が配備されたことについての町の見解はどう見ているか。</p> <p>米側の基地内での様々な計画に対して、老朽化した施設の建て替えに対して見解はどのように理解していくのか。また、外来機の当然のような飛来訓練のあり方について、被害の負担増については抗議するだけではなくしっかり交渉しその代償をとれるメニューの構築、仕組みにできないのか。その代償を町民一人一人がしっかり納得できるように取り組めないか。</p> <p>(1) 町の偉人として真っ先にあがるのは野國總管である。町の大きなイベント、ありとあらゆるところにその名前が出てくるが、その史実について町民へどのように伝えているか。また、詳しい説明をできるか。</p> <p>(2) 町域の約 82%が基地に取られているその現状に至るまでの状況は、どのように町民に伝えられているか。</p>	町長 當山 宏
8	4 番 志喜屋孝也	1. 高齢者補聴器購入助成を問う	<p>聴力低下へ早期に対応し、認知症やフレイル(心と体の働きが弱くなってきた状態)の進行を緩やかにすることで生活の質を維持し、社会参加を図りながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、難聴により生活に支障が生じて</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	4 番 志喜屋孝也	<p>1. 高齢者補聴器購入助成を問う</p> <p>2. 人間ドック・脳ドックを問う</p> <p>3. 脱はんこを問う</p> <p>4. 特定外来生物の対応を問う</p>	<p>いる高齢者に補聴器購入にかかる費用の一部を助成できないか伺う。</p> <p>(1) 那覇市や南風原町が取り組みを進めている加齢性難聴者補聴器購入費助成の制度と内容を伺う。</p> <p>(2) 町としても高齢者の生活向上のため実施できないか伺う。</p> <p>(3) 国、県、他市町村の動向は。</p> <p>被保険者の健康の保持増進を図ること、また、医療費増加の大きな要因の一つになっている脳血管疾患を早期発見し、医療費の抑制を図ることを目的として、人間ドックおよび脳ドッグの利用に対する助成を伺う。</p> <p>(1) 人間ドック・脳ドック等助成事業の内容と町民の近年の受診件数は。</p> <p>(2) 人間ドックと脳ドックどちらか、1万円とのことだが、セット助成はできないのか伺う。</p> <p>(3) 国、県等からの助成はあるのか伺う。</p> <p>行政効率化、町民負担軽減のために、印鑑をやめることを進めることだが、進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 内閣府「地方公共団体における押印見直しマニュアル」とは。</p> <p>(2) 脱はんこについて他市町村の取り組みに対し本町の現状は。</p> <p>(3) 行政の書類、文書等のたとえば婚姻届、確定申告等の押印がなくなったとかの具体的な内容を伺う。</p> <p>環境省の外来生物法では、特定外来生物を見つけたら不用意に捕まえず、まずはその場所の管理者や行政機関に相談することを勧めるとのことだが行政の見解を伺う。</p> <p>(1) 本町の特定外来生物の現状と種類あるいは被害等はあるか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	4 番 志喜屋孝也	4. 特定外来生物の対応を問う	(2) 比謝川及び周辺河川の特定外来生物が生息していると聞かすが、その対応は。 (3) 比謝川の特定外来生物への県と本町の取り組みは。	町長 當山 宏
9	9 番 新垣貴人	1. 健康ポイント制度について 2. 給食費について	日本の社会保障制度としての国民皆保険制度は世界に誇れる制度だ。ただ増大する医療費が市町村財政を圧迫する中、健康づくりを推進するために、町民の意識の啓発が欠かせない。本町においても生活習慣病の予防、また医療費支出の抑制が課題となっている。健康増進の施策において、町民の健康増進へのインセンティブとして、地域商品券や施設利用料等に変換できる健康ポイント制度の提案をこれまで行ってきた。その提案した事案の経過について、2点伺う。 (1) 現状までの検討の経過は。 (2) スマホアプリで管理し、健康ポイントを地域通貨として活用できる健康ポイント制度の提案をしてきたが、今後の方針は。 円安による経済情勢や侵略による国際情勢の混乱で、物価やエネルギー関連の値上げがおきている。給食提供について値上げの影響が大きいと思慮される。学校給食は、子ども達の健全な成長の基礎となるものであり、また、給食が主な栄養源となる世帯の子ども達は少なくない。下半期、次年度も現状の質と量を維持した学校給食の提供のため、公費負担を増額してでも、学校給食の質と量が維持できる予算措置をして頂きたい。そこで3点伺う。 (1) 学校給食の運営面の影響は。 (2) 現状の質と量を維持した学校給食の提供が可能なのか。公費負担を増額してでも、学校給食の質と量の維持を求める。その見解は。 (3) 保育園、幼稚園も同様に保護者負担の増額がないように、公費負担を増額してでも給食の質	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	9 番 新垣貴人	3. コロナウ イルスワク チン接種事 業について	<p>と量の維持を求める。その見解は。</p> <p>沖縄県の統計によると県内のコロナウィルス感染者は、11月時点で51万5千人に達したと公表された。県民の約3人に1人が罹患したことになる。他方、社会生活では、第7波が落ち着き、外国人観光客の受入れが10月11日から再開し、国内でも全国旅行支援事業が実施され観光関連業界を中心に徐々に経済回復の兆しを見せつつあるが、やはり人流の活発化や季節の変わり目には感染症が流行し、第8波は目前まで迫っているとの懸念もある。感染しても重症化を防ぐワクチン接種は、自分だけでなく周りの人達を守るための有効な手段だ。そのワクチン接種事業について3点伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン薬剤管理サポート業務委託料の業務内容は。</p> <p>(2) 業務委託契約に至るまでの事務手続きの過程は。</p> <p>(3) 業務委託料の内訳と単価は。</p>	町長 當山 宏
10	13 番 奥間常明	1. 家賃補助 について 2. 空き家対 策について	<p>令和4年6月定例会において、「家賃補助」導入についての質問に対して、「人口減少対策住環境整備検討委託業務」の中で、研究していくと答弁をいただいた。その後の進捗状況を伺う。</p> <p>令和4年6月定例会において、「建物瓦礫、市町村が撤去可能に政府、特措法改正案を閣議決定」町内にそれに該当する物件はあるか、地域からの要望はなかったか等質問したが、その後調査はされたか。</p> <p>倒壊の危険性が高い、道路に建造物の一部がはみでている、コンクリートが剥がれ落ちている、荒蕪地化して環境衛生の悪化と火災の危険性等早急に取り組まないと、事が起こってからでは取り返しがつかない。法律的に難問があれば伺いたい。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	13 番 奥間常明	3. LINE 活用 による町民 の声聴取	<p>情報通信技術の進歩により、老若男女多くが、スマホを使いこなし、社会情勢等について、これまでは新聞、情報誌、テレビ、ラジオ等でしか知るすべがなかったが、しかし現代は、あらゆる情報を瞬時に個人が収集、情報発信できるようになった。このような中、20代の若者達から、「役場に対して、「疑問・質問」「要望・提案」をLINEで、気軽に送信できないか、若者の街づくり、政治(選挙)等への参加が増え、町の活性化に少なからずも繋がると思う。」このような声があった。町の将来にひとすじの明るい光と展望が開けた思いがした。この情熱を大切に、決して反故することのないよう、システム導入を前向きに検討してはどうか。</p>	町長 當山 宏
11	3 番 仲村 一	1. 带状疱疹 予防ワクチ ン接種へ補 助を	<p>带状疱疹は 50 歳以上の人に多く発症するといわれている。</p> <p>症状としては個人差もあるが、初めに痛みが起こり皮膚の違和感やかゆみ・しびれを感じる・ひどいときは針で刺されたような痛みがあるとい、その後水袋を伴う赤い帯状の斑点ができる病気である。</p> <p>発症した人の話によるとその人は1年以上針で刺されたような痛みがあり仕事も家事もできない、夜も眠れなくて大変だったとおっしゃっていた。</p> <p>最近テレビのコマーシャルでもワクチン予防接種の告知をしている。80歳までに3人に1人が発症するといわれている。この带状疱疹の予防ワクチンは予防接種法対象外になっていて全額自己負担になっている。打つ種類にもよるが1万円から2万円くらいすると聞いている。他の自治体においても重症化する前にワクチンを接種しようということで補助をしているところも近年増えてきている。本町においても取り組む時期にきているのではないかと思う。見解を伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	3 番 仲村 一	2. 国道 58 号 バイパスの 本町の予定 は	<p>沖縄の交通渋滞解決に向け国道 58 号のバイパスの延伸がある。隣の読谷村においては沖ハム工場裏から渡具知の浜に向ける工事が着々と進んでいる。北谷町においても国体道路以南は 8 車線へ移行すると聞いている。本町にとって今後どのようにしていくのか取り組む時期にきているのではないかと思う。町当局の考えを伺う。</p> <p>以前、山田議員が浮島案を提起していたが、82 パーセントを基地に摂取されているわが町にとって 58 号バイパスは地上案ではなく海上案の方向で進めるべきではないかと考える。国・県に対し砂辺まで埋め立てを提起し、企業誘致や高齢者施設・人工ビーチ・マリーナの移設等も含め検討してみてはどうかと考える。見解を伺う。</p>	町長 當山 宏
12	11 番 當山 均	1. 公営墓地 における一 般公募区画 数の拡大を 求める	<p>本町は平成 27 年 4 月から令和 7 年 3 月までの 10 年間を対象とする「町墓地整備基本計画」を策定し、これまで一般公募の実施及び公園内や主要な幹線道路沿道のお墓の霊園への移転・集約に取り組んできたが、公募の度に公募区画数を大幅に超える申し込みがあったと聞く。公募に落選した町民から「一般公募区画数の拡大を求める」切実な声が届いており、まだまだ町民のニーズは高いと推測する。</p> <p>本計画の対象期間終了まで残すところ 2 年余となったことから、一般公募区画数の拡大を求めるとともに次の質問を行う。</p> <p>(1) 本計画に基づき実施した一般公募の回数は。各回の抽選期日・公募区画数・応募者数・当選倍率は。</p> <p>(2) 本計画において、「今後の墓地需要は年間 5 基ずつの増加…(中略)…今後 10 年間で 50 基の墓が増加することが想定される」(計画書 P 77～)と明記されているが、その算出根拠を問う。</p> <p>(3) 本計画作成時、169 の霊園空き区画(久得霊園 39 区画、嘉手納 122、水釜 8)があり、その</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	<p>1. 公営墓地における一般公募区画数の拡大を求める</p> <p>2. 都市再生整備住宅への早急かつスムーズな移転に向け</p>	<p>空き区画の利用計画として、(a) 公園などの公共施設内の移転用として 77 区画、(b) 主要な基幹道路沿道 27 区画、(c) 新設墓地数 50 区画、(d) その他の利用分 15 区画を計画しているが、(a) ～(d) の利用計画に対する利用状況は。また、現在の各霊園の空き利用区画数は。</p> <p>(4) 公営墓地内に既に無縁墓となっている墓はあるか。あればどう対応しているか。移設撤去のための施策を検討しているか。また、近年、墓じまいを希望する方が増えつつあると聞くが、そのような相談はあるか。相談があればどう対応するのか。</p> <p>(5) 「今後の課題」及び「今後の方向性」(計画書 P 83～85) が項目ごとに整理されているが、とりわけ次の項目に関する検討経緯・内容及び検討を踏まえた方向性等を問う。</p> <p>①公営墓地について(一般公募区画数の拡大に向け。墓地面積の縮小やロッカー式墓地・共同墓地の整備。新たな公営墓地整備に向け米軍基地跡地利用の中での検討)</p> <p>②納骨堂について(現在は無縁墓移転による利用が主だが、今後、町民も活用できるよう施設の整備や規則の整備)</p> <p>③葬斎場について(建替えに向けての検討。新たな葬斎場建設に向け米軍基地跡地利用の中での検討は)</p> <p>(6) 第 2 次町墓地整備基本計画は策定するのか。策定するなら対象期間は。いつから着手するのか。</p> <p>嘉手納 2 番地地区の密集市街地整備事業の関連施設である「都市再生整備住宅」は 2 億 9 千万円余の多額な予算を投じて昨年整備が完了し、今年 1 月から移転される方々の入居手続きを進めていると聞いていたが、現時点においても同住宅への移転・入居は進んでいない気がする。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	3. 自治会長の待遇改善。早急に報酬増額を	<p>については、現在入居されている権利者は何名か。移転が遅々と進まない要因及び課題は。</p> <p>今後、同住宅への早急かつスムーズな移転に向け、何を、どのように取り組んでいくのか具体的な説明を求める。</p> <p>消費税の段階的増税、消費者物価の高騰傾向、社会保障費の負担増など社会一般の情勢に適応した妥当な報酬額を自治会長に支給することを求め、次の質問を行う。</p> <p>(1) 現在の自治会長の報酬月額はいくらか。この額はいつ（年月）改定したのか。</p> <p>(2) 各区の世帯数は多い区と少ない区では大きな開きがあり、当然、自治会長の業務量も差異があると言えるが自治会長の報酬月額は同額である。</p> <p>例えば、自治会長の報酬月額の算出方法にも均等割り・世帯数割りなどの項目を設け、世帯数や区民数の多寡により自治会長の報酬月額に若干の差異をつけてもよいのではないか。</p> <p>これまで、このような検討は行ったことはあるか。提案に対する見解を伺いたい。</p> <p>(3) 本町管理職及び係長職職員の平均基本給額と現在の自治会長報酬月額を比較検討したことはあるか。</p> <p>(4) 上記(2)の提案も勘案した上で、早急に自治会長の報酬月額の増額を提案する。見解を伺いたい。</p> <p>(5) 現在、町及び議会等は町広報・議会だより等の配布、各課の案内チラシ等の掲示板への貼り出し撤去、各種募金の募集、商品券やチケットの販売、各種委員等の推薦など様々な事務を自治会に依頼しているが、その根拠は何か。明文化しているか。</p> <p>近隣自治体では、町と自治会との事務委託契約に関する要綱を作成し、書面で委託契約を締</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	4. 町立幼稚園における毎週木曜日の弁当持参、長期休業期間の預かり保育でのケータリング導入に関するニーズ調査・検討経緯・結果を問う	<p>結していると聞く。本町も早急に検討すべきではないか。見解を伺いたい。</p> <p>昨年 12 月議会において、「町立幼稚園における毎週木曜日の弁当持参、長期休業期間の預かり保育でのケータリング導入」に関する一般質問に対し、保護者のニーズを把握する必要がある。幼稚園側と調整して保護者の向けのニーズ調査を検討したい。との答弁があった。</p> <p>実施したニーズ調査の方法・内容、これまでの検討経緯、検討内容及び検討した結果を問う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
13	6 番 宇榮原京一	1. 嘉手納公園の今後は 2. 旧中央公民館跡地の活用について	<p>北区にある嘉手納公園は、奥まった場所にあり、見通しが悪い上、施設等の老朽化も伴い、公園のリニューアル化に向けた整備を進めてきた。しかしながら、現在、工事の進展が見えない中、また、公園入口付近の物件も移転する様子もない。平成 30 年度、工事に向けた住民説明会を行ってから随分と年数が経ち、区民から計画について疑念の声も聞こえる。現状を踏まえ、以下を問う。</p> <p>(1) 現在発注の工事概要は。 (2) 公園全体の完成時期は。 (3) 物件移転など現状の課題と対処方法は。 (4) 公園北側から遊歩道にアクセス通路の計画があると思うが、実施の時期は。 (5) 整備計画の遅れについて地域への説明を改めて行う必要はないか。</p> <p>建物が撤去され 1 年が経ち、跡地利用にいまだに明確な方針が示されていない。町民目線からすると本町の狭隘な土地事情から個人が住宅地を求</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	6 番 宇榮原京一	て 3. 町民農園 の現状につ いて	<p>めても困難な中、公共用地の空き地、遊休地は放置された土地として認識され、行政に対して疑念を持つ方もいる。状況を踏まえ、以下を問う。</p> <p>(1) 今後の計画は。</p> <p>(2) 土地利用計画での位置付けは。</p> <p>(3) 町民からの要望は。</p> <p>(4) 嘉手納警察署は、昭和 58 年に新築移転されてから 40 年が経過する。今後、老朽化した建物の建設が急がれると思うが、旧中央公民館跡地に検討しては。</p> <p>一般に「町民農園」とは、サラリーマン家庭や都市住民といった農地を持たない方々が、レクリエーションや自家用野菜の生産などを目的として小さな面積に区画された農地を利用して野菜を育てる生活を楽しむものである。嘉手納町民農園は、平成 30 年度に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して整備され、5 年が経過するが、現在の活用状況について以下を問う。</p> <p>(1) 現在、放置されている区画はあるか。</p> <p>(2) 募集待ちの件数は。</p> <p>(3) 利用期間の更新は、1 年間を単位とし、4 回を上限とするとあるが、今年度の対象件数と更新延長の相談対応は。</p> <p>(4) 駐車場の拡張はどうなったか。</p>	町長 當山 宏
14	14 番 田崎博美	1. 嘉手納町の 空き家対策 について 伺う	<p>国の空き家対策特別措置法が「平成 26 年 11 月」に策定されてから今年で 10 年目に入る。国の指針としては、地方自治体に空き家によって起きるトラブル回避を目的に空き家の利活用や処分を促すための法律が施行されている。以下 7 点について質問をする。</p> <p>(1) 当町では「空き家等対策計画」が未だ策定されていないがなぜか。その理由を問う。</p> <p>(2) 平成 27 年時点の空き家の実態調査結果 85 件を確認しているが、以後のリフォーム再生利用</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	14 番 田崎博美	1. 嘉手納町の空き家対策について伺う	<p>件数、自主的除去件数、一部補助金で除去した件数、平成 27 年以後の新規空き家の件数について伺う。</p> <p>(3) 所有者からの固定資産税の徴収未納額と土地が「住宅用地の特例」が適用されているが、それらの総額について問う。</p> <p>(4) 周囲の安全確保と衛生環境の保全について伺う。</p> <p>(5) 占有者が時効取得する時の法的手続きに対する助言、指導等、財政的支援について伺う。</p> <p>(6) 周辺住民からの苦情や対応はどうなっているか。</p> <p>(7) 空き家等の有効活用について、町独自ガイドラインを策定し、空き家の取得やリフォームを計画されている方には「住宅取得支援事業」や「空き家等リフォーム支援事業」「子育て世帯等と移住者への住まい支援事業」の制度を創設し、空き家の利活用の支援を拡充すべきと思うが町当局の構想があれば伺いたい。</p>	町長 當山 宏
15	15 番 石嶺邦雄	1. マイナンバーカードの普及率は	<p>平成 27 年 10 月から個人番号、つまりマイナンバーカードの提案が始まり、翌年 1 月から行政手続きにおけるマイナンバーカードの利用が開始された。マイナンバーは社会保障・税・災害対策などの分野で複数の機関に存在する個人の情報が同一人物の情報であることを確認するために活用されるもので公平かつ公正な社会を実現するための重要な社会基盤である。</p> <p>私たちの町でも国からの施策として、いろいろな特典も含めて、取得率も上がってきていると思うが、そこで伺う。</p> <p>(1) 令和に入ってから普及率の推移は。令和 3 年において国、県の普及率と比べて我が町はどのようになっているか。また、令和 4 年の上半期においては、数字はでているか。</p> <p>(2) 現在、マイナンバーカードは健康保険証とし</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
15	15 番 石嶺邦雄	1. マイナンバーカードの普及率は 2. 道の駅の環境整備を	<p>てもまた、コンビニでの各種証明の取得でも活用できるが、今後はどのような活用が見込まれているか。</p> <p>(3) マイナンバーカードの普及率の状況によっては国からのペナルティーがあると聞いているが、町としては今後、どのような手法で普及率を上げていく予定か。マイナンバーの普及は、今後いろんな担当課に関係すると推測するが、町独自の施策が必要ではないか。</p> <p>道の駅リニューアルから半年近く経過するが、コロナ禍の落ち着きから観光も回復してきているかと思うが、何度か道の駅を訪問した際に気になる点があったので伺う。</p> <p>(1) 以前の駐車場の増設の質問もあったが、時間がかかるなら、緊急対応として周辺の緑地帯を撤去して、少しでも台数を増設することはできないか。</p> <p>(2) 観光協会の局長含め職員の勤務形態はどのようになっているか。土日など休日にまったく職員がいない状況は普通では考えられないが、町としての見解は。今後、改善策はどのように考えているか。</p> <p>(3) 前年度から、テナント会もしくは観光協会から看板設置の依頼があると聞いているが、どのような状況か。現在ののぼりだけでは、集客にも限界があると思うが、早急な対応を。</p>	町長 當山 宏